資料４

北海道教育推進会議高等学校専門部会における審議について

１　審議内容

「高校づくりの３つの視点」

○　活力と魅力のある高校づくりについて

○　経済社会の発展に寄与する人材を育む高校づくりについて

○　地域と繋がる高校づくりについて

２　審議理由

北海道教育委員会においては、平成１８年に策定した「新たな高校教育に関する指針」に基づく施策の成果と課題について検証を進め、本年１０月に「新たな高校教育に関する指針」検証結果報告書として取りまとめた。

この報告書の中で、「新しい指針を作成する」こととしており、北海道教育推進会議における指針に基づく施策に関する審議においても、高校教育については、情報を整理しながら、議論を一層深める必要があるとされたことから、高等学校専門部会を設置し、「高校づくりの３つの視点」について審議を行うこととした。

３　審議の具体的な内容

○　活力と魅力のある高校づくりについて

多様な学習ニーズに対応し、活力と魅力のある高校づくりを推進できるよう、１学年４～８学級の学校規模を基本としつつ、総合学科や単位制、普通科フィールド制については、それぞれの設置・導入の趣旨及び成果や課題を踏まえ、特色を生かしながら、その機能を一層発揮できるよう教育内容の充実を図るとともに、新たな設置・導入の考え方を検討する。

また、中高一貫教育については、連携型中高一貫教育を行っている高校の小規模化が進む中、中学校との連携の在り方や、併設型の設置の可能性を含めた在り方について検討する。

> 総合学科設置校、単位制導入校、普通科フィールド制導入校、中高一貫教育校、
> 理数科・体育科・外国語科設置校、定時制・通信制高校、特別支援教育への対応、
> 教育諸条件の整備、生徒の修学に対する支援　等

○　経済社会の発展に寄与する人材を育む高校づくりについて

経済社会の変化に対応した人材育成に向け、職業学科については、地域の関係機関、産業界等と連携を深め、望ましい教育環境の下、実践的な教育活動を推進するとともに、産業技術の進展や地域産業の特性等を踏まえた学科構成を検討する。

> 農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、福祉科、産業キャンパス　等

○　地域と繋がる高校づくりについて

地域の教育機能の維持向上の観点や高校が地域で果たしている役割等を踏まえ、通学困難地域を抱え、地元からの進学率が高い学校である地域キャンパス校については、ICTの活用など、教育環境の充実に向けた取組を推進するとともに、再編基準の緩和に向けた具体的人数要件を検討する。

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）については、地域とともにある学校づくりを推進するため、導入促進について検討する。

> 地域キャンパス校、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)、市町村立高校　等